

# （仮称）新九段生涯学習館 基本構想検討会

—第1回—

## — 議題 —

- 1 検討会の設置目的について
- 2 策定趣旨
- 3 検討会の進め方について
- 4 現施設の状況について
- 5 九段生涯学習館を取り巻く環境について
- 6 (仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿・基本方針について

# 1 検討会の設置目的について

# 設置目的と構成員

## ○目的

(仮称) 新九段生涯学習館の整備に当たり、その基本的な考え方となる基本構想を策定するため、(仮称) 新九段生涯学習館基本構想検討会を設置する。

## ○構成員

組織・団体等	氏名（敬称略）
国際基督教大学 教養学部アーツ・サイエンス学科	佐藤 千津
千代田区文化芸術協会	新井 巖
千代田区障害者共助会	清水 水尾
社会教育委員	庄司 由美子
千代田区文化連盟	野田 健一郎
千代田区青少年委員	村木 さをり

## 2 策定趣旨

九段生涯学習館（昭和55年竣工）は、「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」の地区内に所在しています。

本再開発に関する再開発ビルに配置する区有施設については、現時点で九段生涯学習館の機能更新を軸に検討していくこととしています。

そのため、令和7年度は、新たな生涯学習館について検討を行うため、（仮称）新九段生涯学習館基本構想検討会」を設置し、基本構想を策定します。

# 再開発事業の概要①

## －再開発事業の概要－

### (1) これまでの主な経緯

- ・ 平成29年10月 九段南一丁目地区市街地再開発準備組合 設立
- ・ 令和6年3月 都市計画決定(市街地再開発事業)

### (2) 事業計画の概要(予定)

施行区域面積	約 0.6 ヘクタール
建築敷地面積	約 5,410 m <sup>2</sup>
建築面積	約 4,100 m <sup>2</sup>
延べ面積	約 81,600 m <sup>2</sup>
主要用途	事務所、店舗、公共公益施設、駐車場等
建築物の高さ (階数)	約 170m (地上 32 階地下3階)

# 再開発事業の概要②

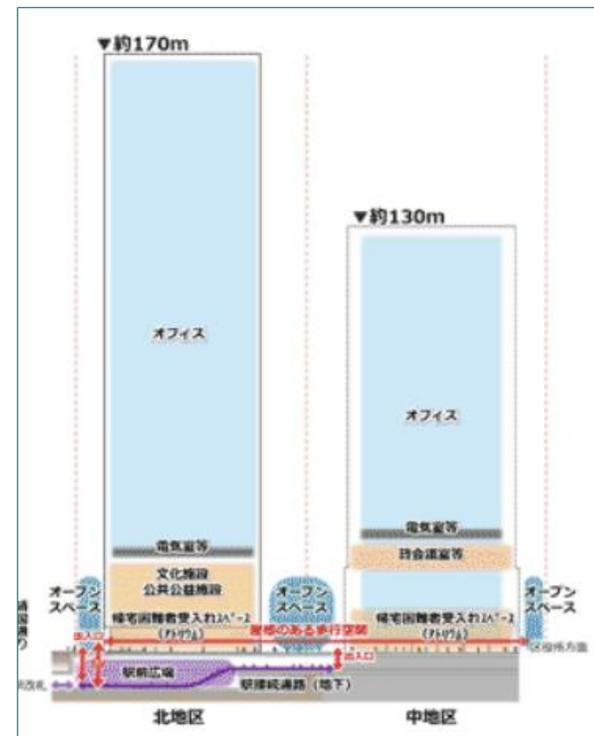
## －再開発事業の概要－

### (3) 今後のスケジュール(予定)

- ・ 令和7年7月 組合設立認可
- ・ 令和8年度～ 権利変換認可
- ・ 令和10年10月 建築工事着工
- ・ 令和15年3月 建築工事竣工



【位置図】



【断面図】

## －基本構想－

「九段南一丁目地区第一種市街地再開発事業」の進捗を見据え、新しい生涯学習館のめざす姿や基本方針といった施設整備の方向性を明らかにするものです。

新たな生涯学習館の整備に向けた基本構想には、主に以下の要素を記載することが想定されます。

## 基本構想の主な構成要素

- ・ 策定趣旨
- ・ 基本構想の背景
- ・ 新たな施設のめざす姿
- ・ 基本方針
- ・ 導入機能
- ・ 今後の取組み

# 3 検討会の進め方

## 検討会の 重点検討事項

基本構想策定の目的や  
経緯などを確認

- ・ 要綱
- ・ 再開発事業
- ・ など

基本構想検討にあたっての  
背景情報を確認

- ・ 現施設の課題
- ・ 社会動向
- ・ アンケート結果
- ・ など

新施設のコンセプトや  
整備の基本的な考え方を整理

- ・ 新施設のめざす姿  
(将来像)
- ・ 基本方針
- ・ など

新施設に導入する機能や諸室  
の方向性を整理

- ・ 導入機能の方向性
- ・ 諸室の方向性
- ・ など

新施設の整備にあたっての  
建築諸条件を整理

- ・ 諸室と規模
- ・ 今後の取組み
- ・ など

基本構想案の確認

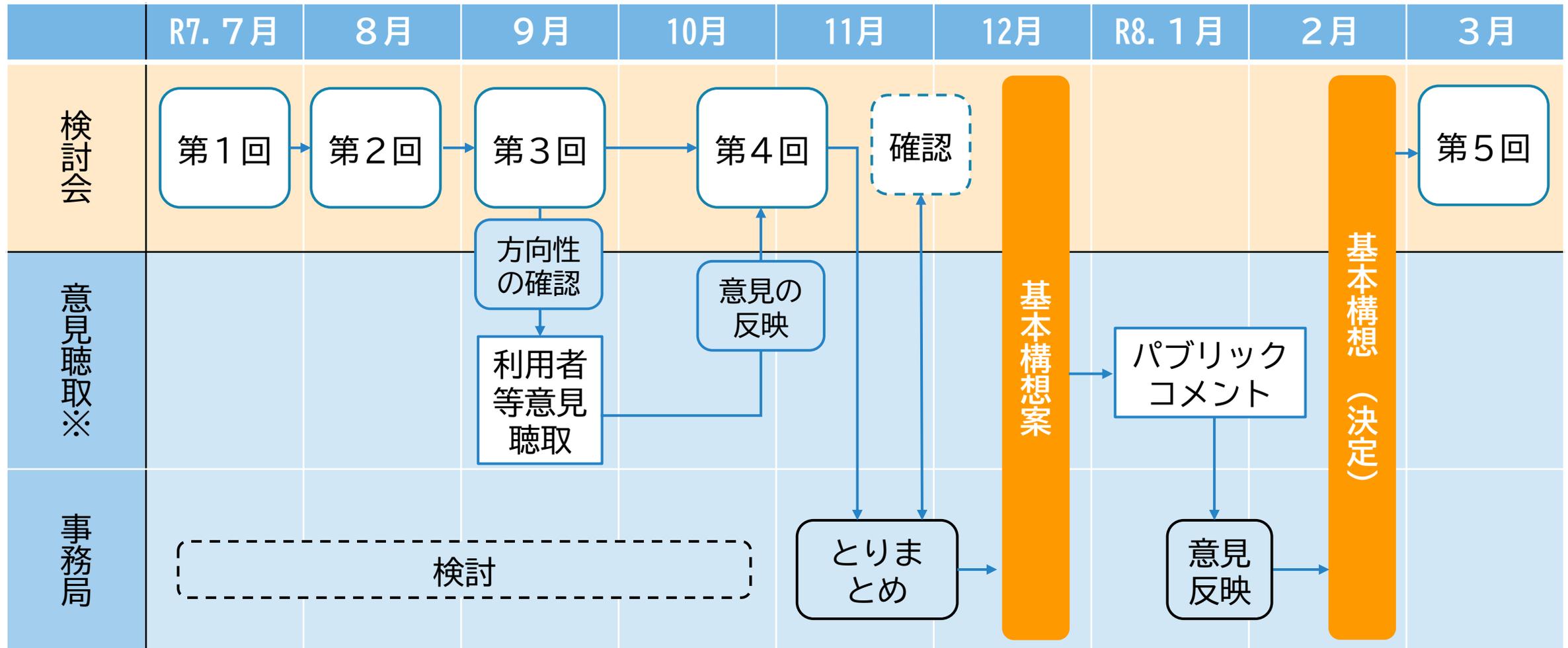
- ・ 基本構想案
- ・ など

# 各回の検討内容

		【第1回】 7月上旬	【第2回】 8月上旬	【第3回】 9月上旬	【第4回】 11月上旬	【確認】 11月中旬	【第5回】 3月
基本構想の 主要素	○策定趣旨 ○基本構想の背景	意見出し	まとめ			基本構想案の 確認	パブコメ結果・ 基本構想報告
	○めざす姿						
	○基本方針		意見出し	まとめ			
	○導入機能		意見出し	たたき	まとめ		
	○施設の規模						
	○今後の取組み			意見出し			

▶ いただいたご意見・ご検討を踏まえ、委員長及び事務局にて最終的なとりまとめを行いご確認いただきます。13

# スケジュール

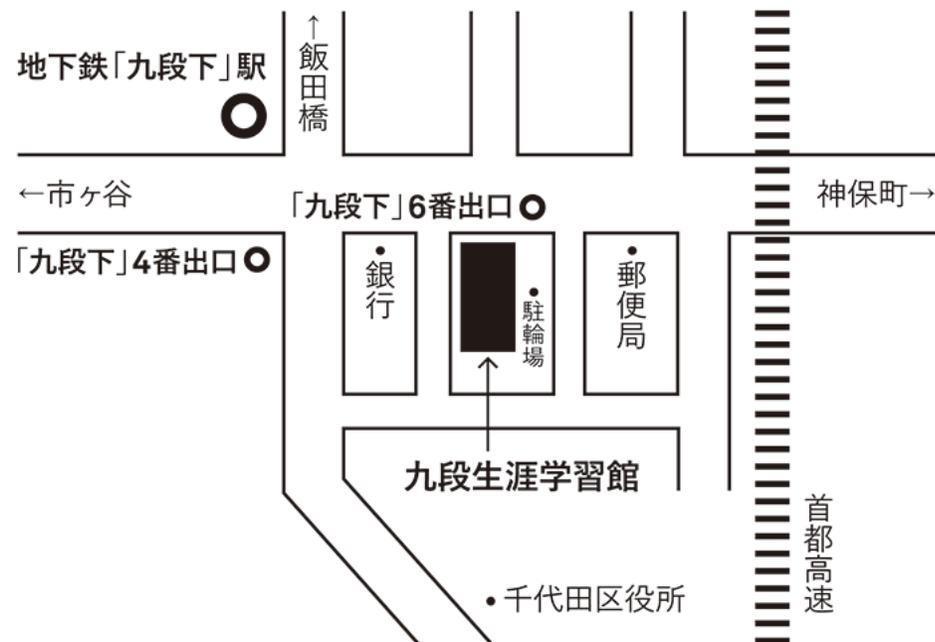


※本検討会では、第3回までに基本構想の構成要素をすべて検討した後、区民や利用者の皆様にも導入機能や規模についてご意見をお伺いし、第4回検討会にてフィードバックすることを予定しています。第4回検討会では、これらの意見も含め検討することを予定しています。

# 4 現施設の状況について

# 施設の概要 ①

- 「千代田区に住み、働き、学ぶすべての人々の生涯学習の振興を図る」ための生涯学習の拠点施設。
- 昭和55（1980）年にオープンし、平成13（2001）年には改修工事を実施。
- 建物は鉄骨鉄筋コンクリート造（地下1階、地上9階、搭屋1階）で、延床面積は約2,800㎡。
- 九段生涯学習館は1階から6階に配置。
- 九段下駅の出口前という、利便性の高い場所に立地。



## ■諸室の配置の状況

上層階：運動や音楽など、音の出る活動の部屋

中層階：集会室・学習室など机と椅子を使って行う活動の部屋

下層階：エントランスロビーやギャラリーなど、様々な利用者が利用する部屋

用具庫	更衣室	レクリエーションホール			6階	
多目的室		第5集会室	第6集会室	音楽・視聴覚室	5階	
第1集会室	第2集会室	第3集会室	第4集会室	実習室	4階	
和室（大）		第2学習室		和室（小）	第1学習室	3階
第1会議室		第2会議室		九段ギャラリー		2階
エントランス		事務室・受付		駐車場		1階
機械室類・清掃用控室・更衣室					B1階	

# 施設の概要 ③

## ■1F エントランス (外観)



## エントランス ロビー



## ■2F

### 第1会議室(定員14名)

- R6年度利用率56.7%
- 2面採光で明るく、広さ的にも使い勝手がいいため、比較的利用率は高い。



### 九段ギャラリー

- R6年度利用率46.1%
- 登録団体以外も利用が可能。
- レクリエーションホールが予約できないときに講座の開催に利用されるなど、展示以外での利用も2割程度ある。



## ■3F 第1学習室（定員45名）

- R6年度利用率51.8%
- 2面採光で明るい大部屋で、利用率は比較的高い。



## 和室（大）（定員32名）

- R6年度利用率69.4%
- 東日本大震災時には帰宅困難者の待機場所として開放された。
- 着付けやヨガ、健康体操、日本舞踊等に使用される。



## 和室（小）（定員16名）

- R6年度利用率53.2%
- 託児室として利用することもあり、ベビーベッドやおもちゃを備えている。



## ■4F 第1集会室（定員33名）

- R6年度利用率45.4%
- 語学講座等によく使用される。



## 実習室（定員33名）

- R6年度利用率25.3%
- 電気炉置場と準備室が併設されている。
- 電気炉が併設されている施設は区内では限られるため、陶芸サークルからの需要が高い。一方で、その他の用途での利用は少ない。



実習室



陶芸用電気炉

## ■5F

### 多目的室（定員35名）

- R6年度利用率83.9%
- ピアノがあり、合唱や楽器、ダンスなどの練習に利用される。防音仕様になっている。



### 音楽・視聴覚室（定員60名）

- R6年度利用率85.9%
- 合唱や楽器、ダンスなどの練習に利用される。



### 第5集会室（定員10名）

- R6年度利用率36.7%
- 折り畳み式の畳の貸し出しにより利用率が上がっている。



## ■6F



### レクリエーションホール(定員100名)

- R6年度利用率91.1%
- 合唱や楽器、ダンスなどの練習に利用される。
- 防音仕様になっている。
- 舞台を設置することができ、発表会等にも使用される。
- 天井が高く、壁面に鏡があり、グランドピアノがある。
- 放送用の個室と器具庫がある。

## 部屋の貸し出し

- 生涯学習活動のための部屋と備品の貸し出し。
- 登録団体が対象。
- 午前、午後、夜間の3コマで貸し出し。

## バウチャー制度

- 区内の大学やカルチャーセンターなどで講座や講習会を受講した場合に、受講料の一部を補助する制度。

## 講座・イベントの開催

- 教養講座、ジュニアカレッジ、異世代交流事業など、様々な講座の実施。
- すぽすたちよだ（スタディプログラム）やちよだ生涯学習カレッジなどの学習プログラムの提供。

## 学びの成果や情報発信

- 九段フェスの開催。
- 生涯学習団体1日公開講座事業への助成。

## 自発的学習の推進

- 区民が企画・運営する区民自主企画運営講座や、人材バンク登録者による人材バンク活用講座などへの支援（講師への補助金支給）。

## マッチング・人材育成

- 人材バンク登録制度の運営。
- 学びと地域のコーディネーター事業。

- 指定管理者により運営。
- 開館時間は9時から21時まで。
- 休館日は毎月第3月曜日・年末年始。
- 午前(9時～12時)、午後(13時～17時)、夜間(18時～21時)の3コマで部屋を貸し出し。午前・夜間は30分延長可能。
- 利用料金は部屋の面積に応じて設定。
- 施設の利用には、あらかじめ団体の登録と会員名簿の提出が必要。

団体区分	条件
区民自主	①会員が5名以上の団体 ②代表者が区内在住 ③会員の半数以上が区内在住者
一般	①会員が5名以上の団体 ②代表者が区内在住または在勤・在学者 ③会員の半数以上が区内在住または在勤・在学者

登録できない団体：①営利活動を行うことを目的とする団体。  
②公共団体及びこれに準ずる団体。

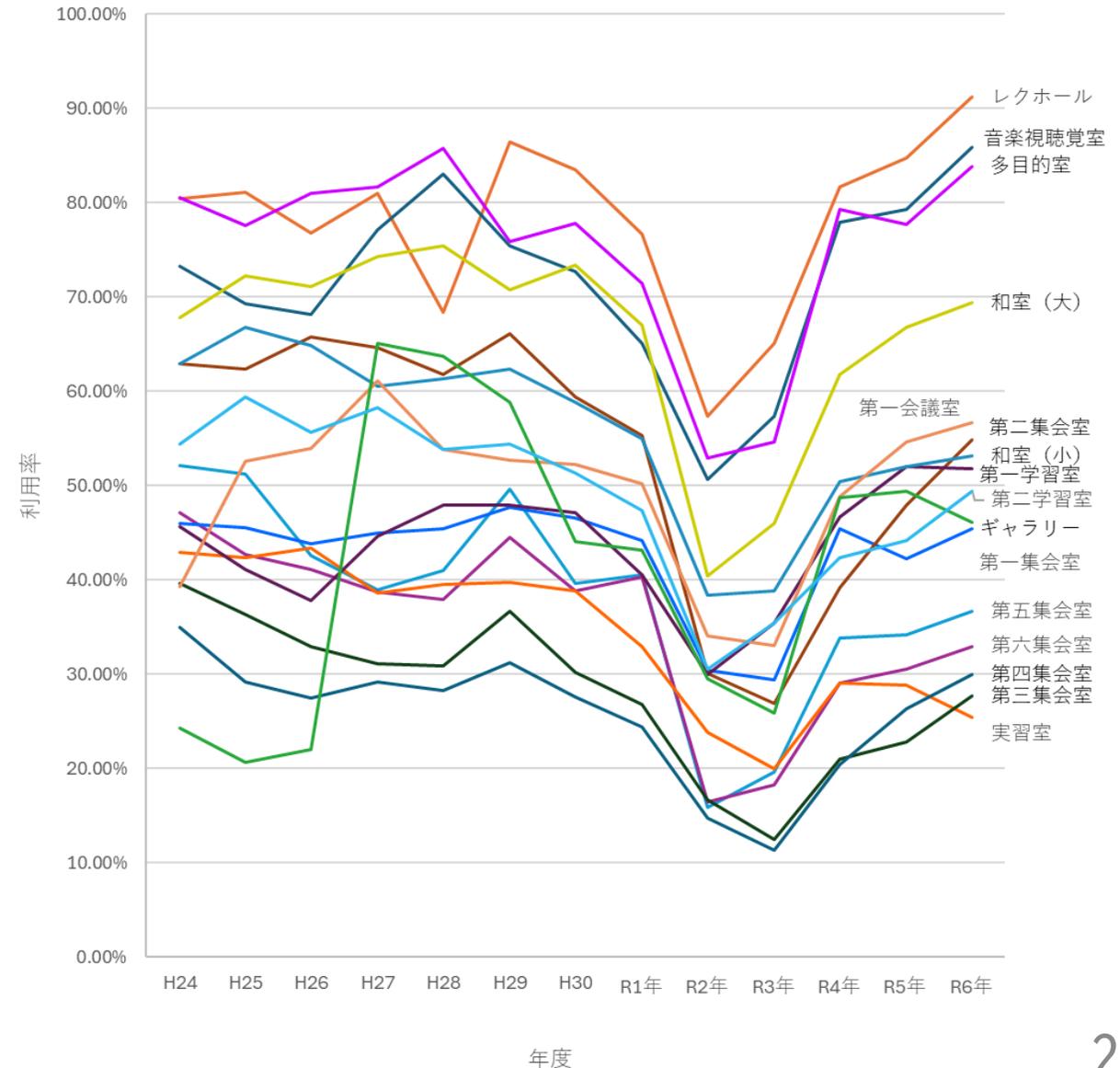
## 令和6年度 施設利用実績

室名	利用率[%]
レクリエーションホール	91.1
音楽視聴覚室	85.9
多目的室	83.9
実習室	25.3
第1集会室	45.4
第2集会室	54.9
第3集会室	27.7
第4集会室	30.0
第5集会室	36.7
第6集会室	33.0
第1学習室	51.8
第2学習室	49.4
第1会議室	56.7
和室(大)	69.4
和室(小)	53.2
九段ギャラリー	46.1

# 利用状況

- 令和7（2025）年6月17日現在の登録団体数は、454団体。うち月1回以上で定期的に活動しているのは約240団体。
- 令和6年度の利用件数は8,427件
- 女性の利用者が多い。若者世代の利用は非常に少なく、30代～50代の利用も少ない。
- 令和2・3年度には新型コロナウイルスの影響で底を打ち、令和4年度以降は回復傾向。レクホール、音楽・視聴覚室、多目的室など一部の部屋ではコロナ前のピーク時の水準を超える勢いで上昇中。
- 小規模な集会室や実習室は利用率が20～30%台と低い傾向である一方、音楽室・多目的室は利用率が80～90%台と高い傾向となっており、部屋により利用率に大きな差が生じている。

## 九段生涯学習館の各室利用率の推移



# 5 九段生涯学習館を取り巻く環境

# 5-1 千代田区の人口等

## ●総人口の推移

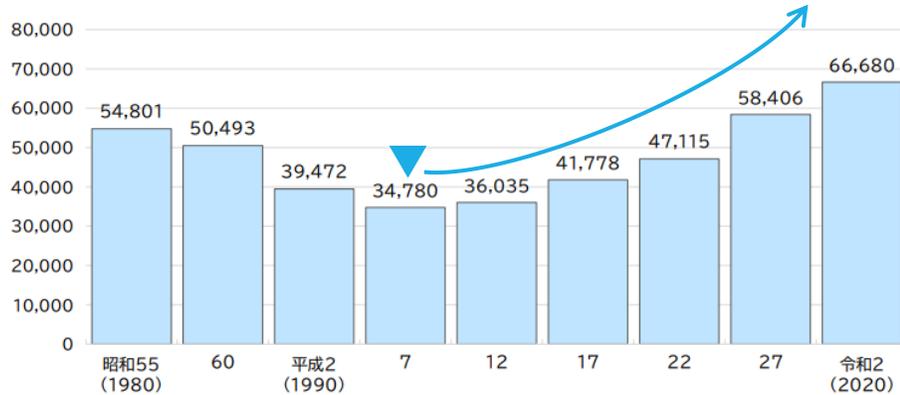
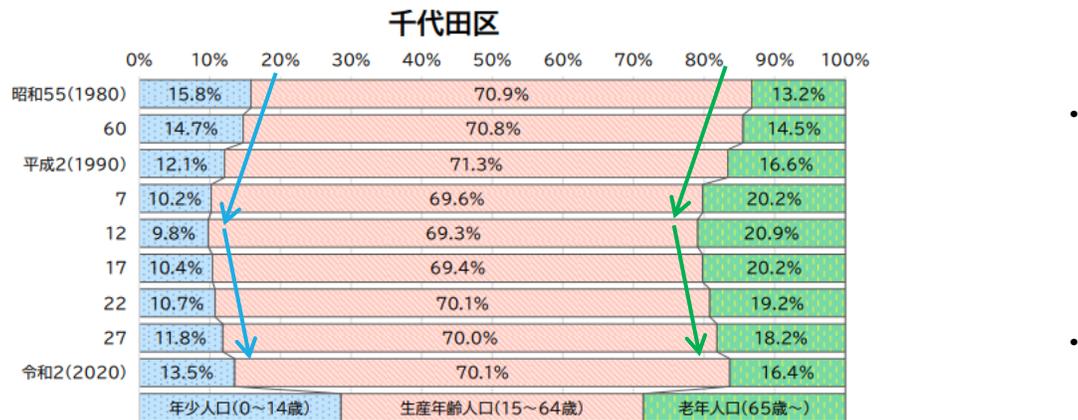


図 1-1 千代田区の総人口の推移

資料：国勢調査（外国人人口を含む）

- ・国勢調査に基づく千代田区の総人口は、平成7(1995)年まで減少傾向であり、同年 34,780人であった。以降は増加に転じ、令和2(2020)年は66,680人である。
- ・令和7(2025)年6月1日時点の住民基本台帳総人口では、69,181人である。

## ●年齢3区分別人口比率の推移



※ 年齢不詳人口を除いている（以下同様）

- ・千代田区の年少人口比率は、平成12(2000)年まで減少傾向であり、9.8%であった。以降は増加に転じ令和2(2020)年は 13.5%である。
- ・生産年齢人口比率は、昭和 55(1980)年以降 70%前後を推移している。一方、特別区・東京都は、いずれも概ね減少傾向であり、千代田区は特徴的な傾向である。
- ・老年人口比率は、平成 12 年に 20.9%まで上昇した。以降は減少傾向に転じ、令和2年は 16.4%である。一方、特別区・東京都は、いずれも概ね増加傾向にあり、千代田区は特徴的な傾向である。

# 昼夜間人口比率

## ●昼夜間人口比率

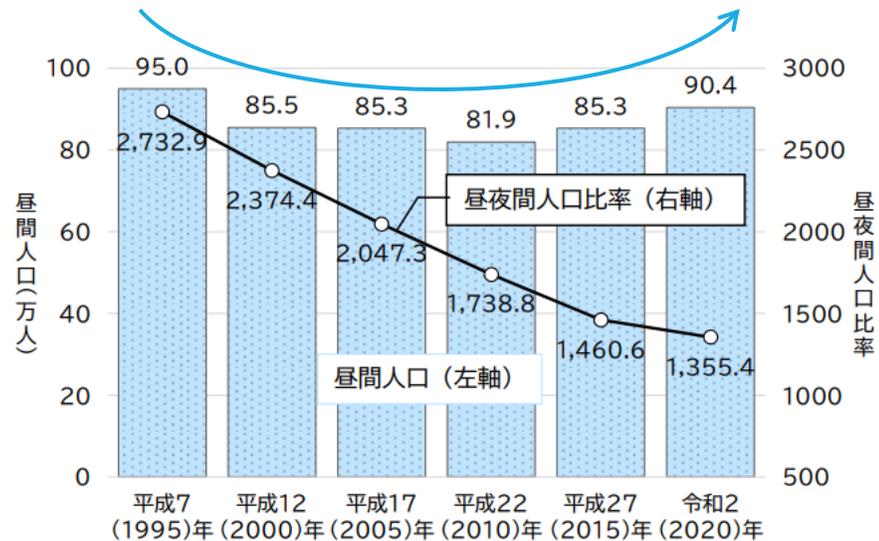


図 1-33 千代田区の昼間人口・昼夜間人口比率の推移

資料：国勢調査

- ・千代田区の昼間人口は、平成7(1995)年に95.0万人であったが、平成22(2010)年に81.9万人に減少した。以降は増加に転じ、令和2(2020)年は90.4万人である。
- ・昼夜間人口比率は平成7年(2732.9)から一貫して減少しており、令和2(2020)年は1355.4である。しかし、依然として昼夜間人口比率は著しく高い。

## ●将来人口推計

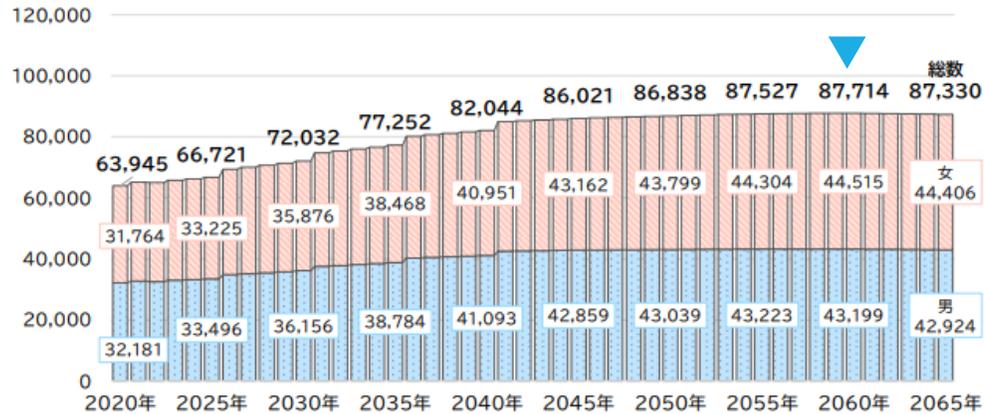


図 2-2 全区日本人人口の推計結果（男女別・総数）

- ・ 増加傾向が続き、2060年に87,714 人でピークを迎え、以降は減少に転じ、2065年には87,330人になると見込まれる。

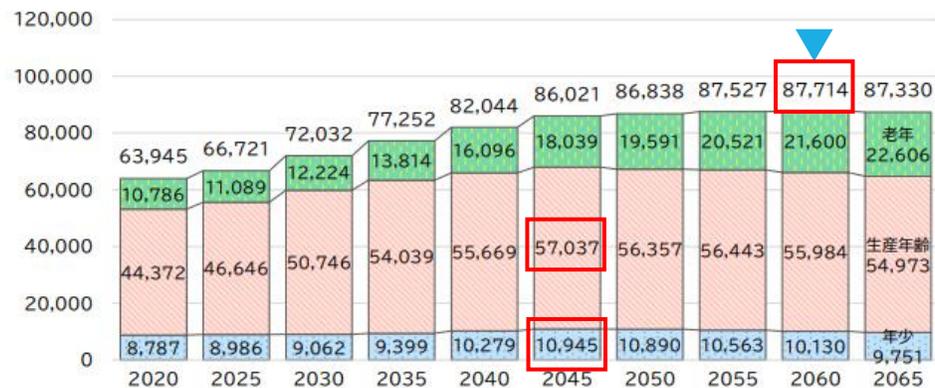


図 2-3 全区日本人人口の推計結果（年齢3区分別人口）

- ・ 年少人口（0～14 歳）は、人口の絶対数が約 2 千人増加し、2045年頃ピークを迎える。以降は減少に転じる見込みである。
- ・ 生産年齢人口は、人口の絶対数は増加傾向で 2045年に57,037人でピークを迎え、以降は減少に転じる見込みである。
- ・ 老年人口は、人口の絶対数は増加傾向が続き、2065年に22,606人（25.9%）となる見込みである。

※年少：0～14 歳、生産年齢：15～64 歳、老年：65 歳以上

『教育と文化のまち千代田区宣言』のモニュメント

わたしたちのまち千代田区は、日本の首都の中心に位置し、近代日本の歴史とともに歩み続け、また近代教育発祥の地として各界にわたる多くの優れた先人を生み、日本の発展の礎を築いてきた。そして、豊かな特色ある産業や江戸以来連綿と引き継がれた江戸っ子気質の個性ある文化といきいきとした生活環境を育んできた。

わたしたちは、ここに生活し、多くの人々と連帯の絆を保つ中で、このまちに誇りと愛着を感じている。しかし、東京の都市構造は日本の経済発展とともに変容し、今までの歴史的環境がこわされ、多くの仲間がこのまちを離れ、地域社会としての人々のふれあいが薄くなり、都市としての活力が失われつつあることにわたしたちは不安を感じている。

わたしたちの千代田区は、これからも首都としての中核機能と共存し、文化的な都市型産業を育成し、職場と住居の近接を図って都市の空洞化を克服していかなければならない。そして、いきいきとした生活の場、学ぶ場、働く場として将来に向けて新たに発展していくために、わたしたちすべてが、今改めてこのまちをわがまちとして考え、自らの力で心と心のふれあう魅力あるまちに築きあげる決意をし、努力を続ける必要がある。

この魅力あるまちづくりのためのよりどころとして、わたしたちは「教育」と「文化」を考える。なぜなら「教育」は、わたしたちが、そしてわたしたちの子どもたちが今を生き、未来をより良く生きるための糧であり、「文化」はわたしたちがつくるまちそのものであり、生活そのものであると考えるからである。

この千代田のまちで生活し、学び、働きそしてこのまちを愛するわたしたちすべては、今ここに5つの目標の達成を期し、千代田区を教育と文化のまちとすることを宣言する。

- ・わたしたちは、いきいきとした地域生活を取り戻し、居住と職域の調和した、自立的で、文化の香り高いまちづくりを目指します。
- ・わたしたちは、地域に根ざした人間性豊かな教育を行い、歴史的に培われた郷土の文化遺産を子どもたちに伝え、次の世代の市民を育みます。
- ・わたしたちは、ここに集い、働き、学ぶ人々とともに文化を高め、あらゆる機会と場を通じて、生涯にわたり学び続けます。
- ・わたしたちは、首都東京の顔にふさわしい美しい環境を守り、広く世界の人々と交流を図ります。
- ・わたしたちは、政策のすべてが文化の視点から見直され、展開されることを求めます。



## 5-2 アンケート結果

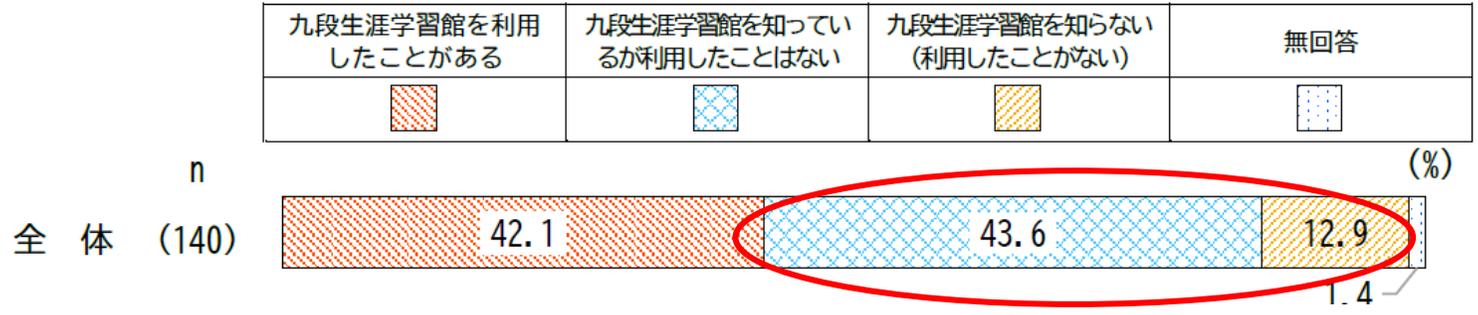
# 区民の意識やニーズ（アンケートより）①

## ■令和6年度に実施したアンケート

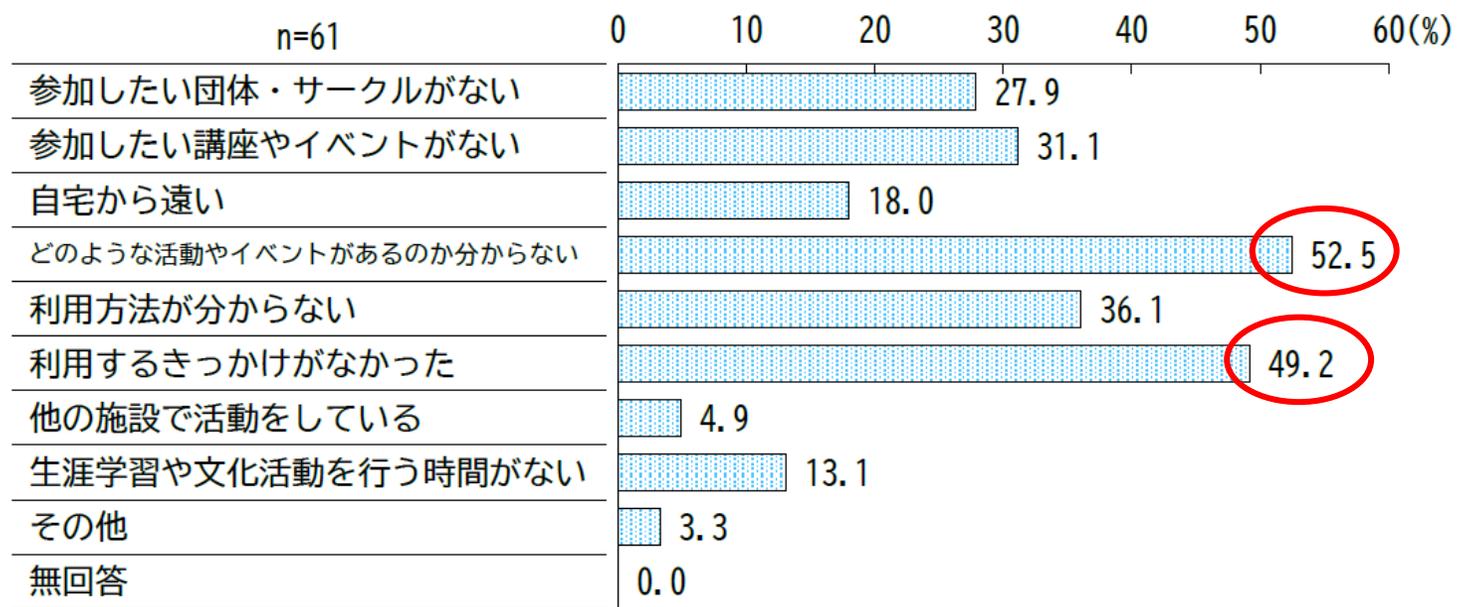
	<調査Ⅰ>（仮称）新九段生涯学習館整備に関するアンケート	<調査Ⅱ>（仮称）新九段生涯学習館の整備に向けた利用団体アンケート
調査対象	在住、在学、在勤者	九段生涯学習館の登録団体（434団体）
調査方法	紙の回答票及びアンケートホームページを作成し、広報ちよだ、公式LINE等を通じてアンケートの実施を周知。インターネットまたは生涯学習館等に設置した回収ボックスにより回収。	全登録団体に調査票を配付し、インターネットまたは郵送により回答を回収。
調査期間	令和6（2024）年6月20日から令和6（2024）年7月17日まで	
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九段生涯学習館の利用状況</li> <li>○新しい施設の方向性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九段生涯学習館の課題や改善すべき点</li> <li>○新しい施設の役割</li> <li>○新しい施設の整備に関するご意見・ご提案</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九段生涯学習館を利用したことがない方の理由</li> <li>○九段生涯学習館を利用したことがない方・九段生涯学習館を知らない方の今後の利用意向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九段生涯学習館・スポーツセンターで「広すぎる」あるいは「狭すぎる」と感じる部屋</li> <li>○九段生涯学習館の使い勝手</li> <li>○新しい施設で導入すべき機能やスペース</li> </ul>
回収結果	回答数140件（有効回答数140件、無効回答数0件） （有効回答数のうち、インターネットを通じた回答は119件、郵送・回収ボックスを通じた回答は21件）	配布数 434件、回収数 203件 （有効回答数202件、無効回答数1件）、有効回収率46.5%

# 区民の意識やニーズ（アンケートより）②

調査Ⅰ 問1 あなたは、これまでに九段生涯学習館を利用したことがありますか。（1つだけ○）



調査Ⅰ 問5 【問1で「2知っているが利用したことはない」と回答した方にお聞きします】  
これまで九段生涯学習館を利用しなかったのはなぜですか。主な理由を3つまでお答えください。（○は3つまで）



## ■区民の利用状況・利用意向

- 九段生涯学習館を利用したことがない区民は過半数にのぼる。
- 利用したことがない理由として、「どのような活動やイベントがあるのか分からない」や「利用するきっかけがなかった」が多かった。

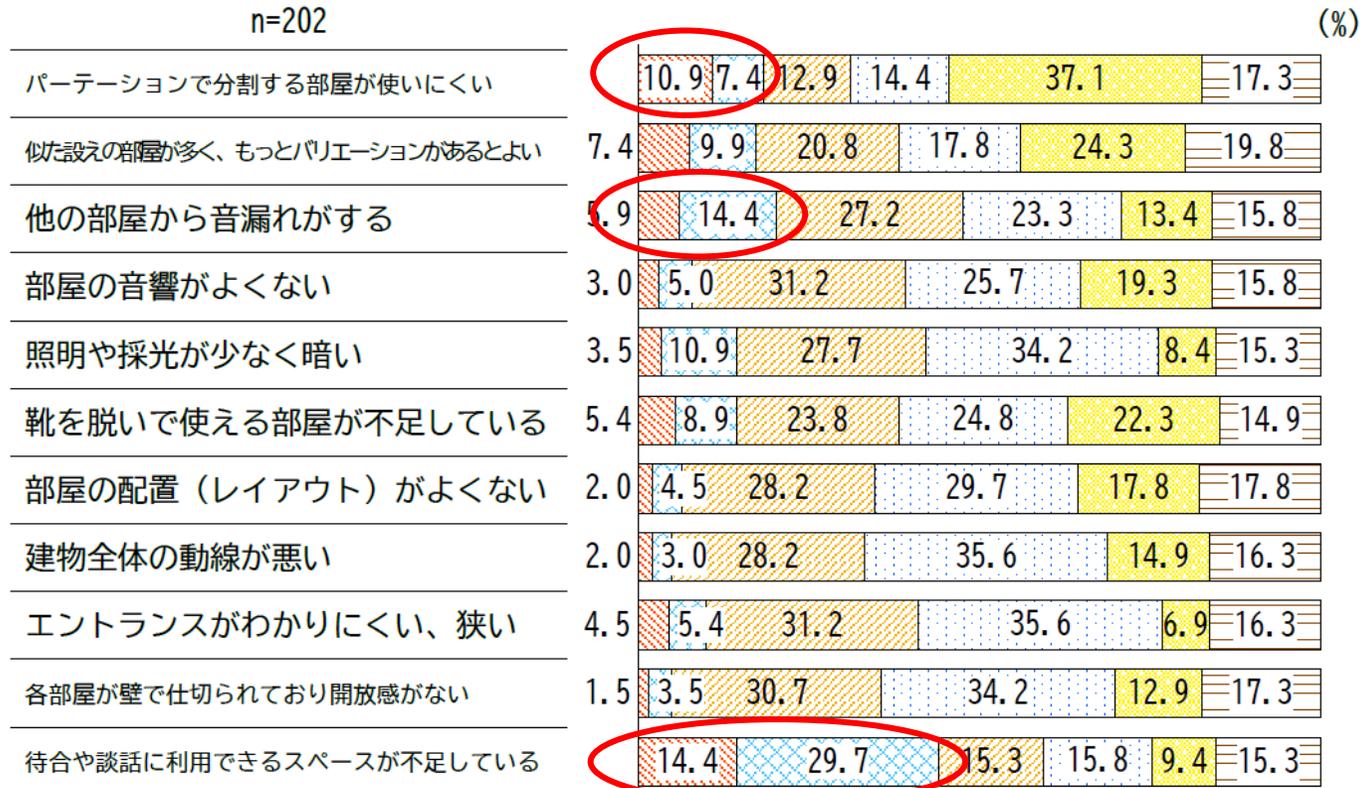
関連して  
「今後九段生涯学習館を利用してみたいか」についての質問結果は・・・

- 九段生涯学習館を利用したことがない方の約76%が、今後「ぜひ利用してみたい」または「機会があれば利用してみたい」と回答。

# 区民の意識やニーズ（アンケートより）③

調査Ⅱ 問7 九段生涯学習館の使い勝手について、どのようにお感じですか。以下の全ての項目について、あてはまるものを1つずつお答えください。（各項目に1つずつ0）

そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答



## ■団体の利用状況と課題

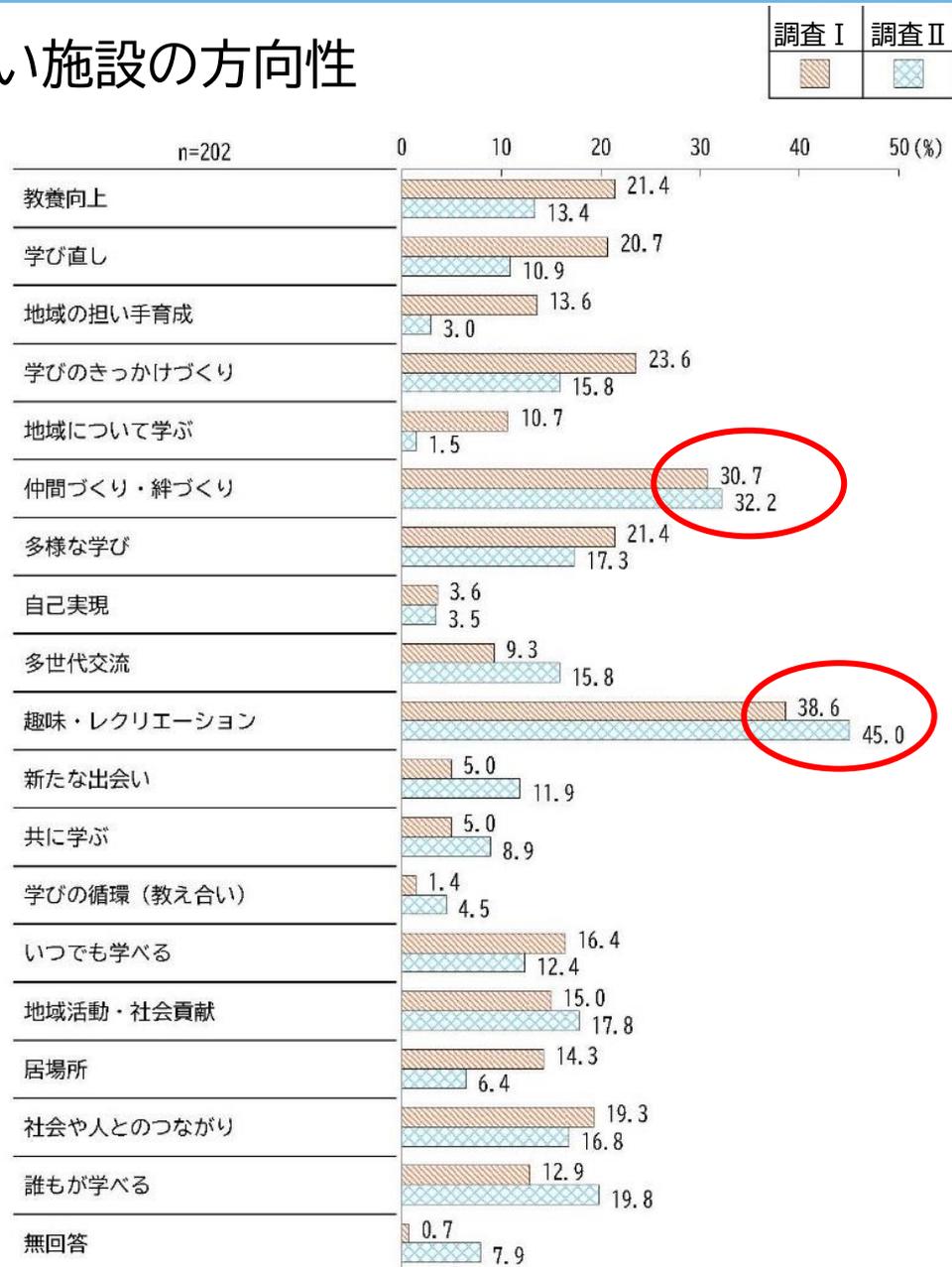
- 使い勝手に関しては、「待合や談話に利用できるスペースが不足している」、「他の部屋から音漏れがする」、「パーティションで分割する部屋が使いにくい」との意見が多い。

関連して  
「九段生涯学習館以外の施設を利用する理由」についての質問結果は・・・

- 九段生涯学習館以外の施設を利用する団体は約4割で、その理由は「希望曜日・時間帯の予約ができる」が最も多い。

# 区民の意識やニーズ（アンケートより）④

## ■新しい施設の方向性

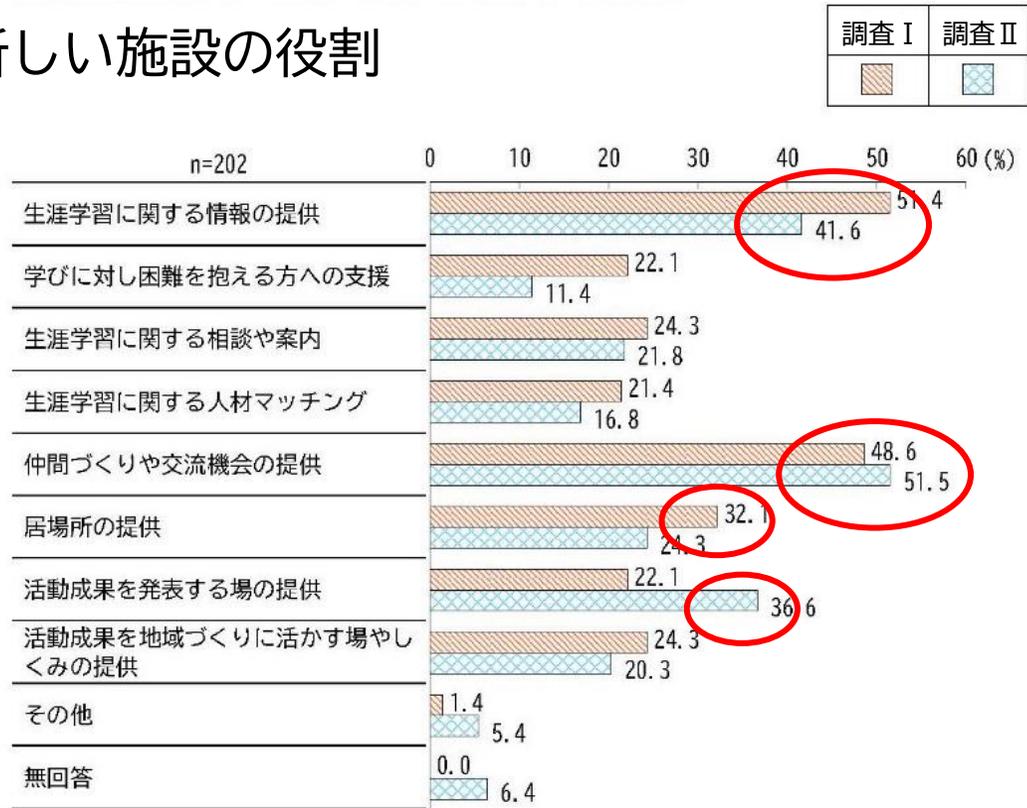


問7（調査I）、問8（調査II） 新しい施設はどのような施設であるべきと思いますか。新しい施設の方向性を示すキーワードとして重要だと思われるものを3つまでお答えください。（〇は3つまで）また、重要なキーワードがあればお書きください。

- 新しい施設の方向性として、「趣味・レクリエーション」と「仲間づくり・絆づくり」が団体・個人ともに特に多かった。
- 「教養向上」、「学びのきっかけづくり」、「多様な学び」を重要と考える意見が多かった。“学びの機会充実”が求められていることがうかがえる。

# 区民の意識やニーズ（アンケートより）⑤

## ■新しい施設の役割



問8（調査Ⅰ）、問9（調査Ⅱ） 新しい施設において、生涯学習活動の場所や機会を提供することに加えて、どのような役割が重要だと思いますか。特に重要だと思う役割を3つまでお答えください。（〇は3つまで）

- 新しい施設の役割として、「生涯学習に関する情報の提供」と「仲間づくりや交流機会の提供」が特に多かった。
- 利用団体においては「活動の成果を発表する場の提供」、一般区民においては「居場所の提供」を重要と考える意見も多くなっている。

## ■新しい施設に導入すべき機能・スペース

- 待合や交流のためのロビーやフリースペースを望む意見や、カフェや自動販売機などの飲食機能のニーズが多かった。
- 小さな舞台や音楽練習の部屋、畳以外の素足で活動できる部屋、全面鏡張りの部屋、ICT環境など、活動内容に対応できる部屋や設備を求める意見が見られた。

# 5-3 社会动向

国や都、区の計画等において、「生涯学習、社会教育、文化芸術振興」等に関する記載があります。

- 第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（令和4年8月、第11期中央教育審議会生涯学習分科会）  
～全ての人のウェルビーイングを実現する、共に学び支えあう生涯学習・社会教育に向けて～
- 今後の生涯学習・社会教育の振興方策（重点事項・具体策）について（令和5年3月、文部科学省）
- 第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）
- 令和4年度文部科学白書（令和5年8月）
- 令和6年版高齢社会白書（令和6年6月）
- 文化芸術推進基本計画（第2期）—価値創造と社会・経済の活性化—（令和5年3月24日閣議決定）
- 「未来の東京」戦略（2021年3月）、「未来の東京」戦略 version up 2024（令和6年1月）
- 東京文化戦略2030 芸術文化で躍動する都市東京を目指して（令和4年3月、東京都）
- 千代田区第4次基本構想（令和5年3月）
- 千代田区文化芸術基本条例（平成16年3月17日公布、千代田区）
- 第4次千代田区文化芸術プラン（令和3年9月、千代田区）
- 千代田区生涯学習推進委員会議（平成8年4月～）



これらの計画等から、生涯学習に求められるキーワードを抽出し整理。

## ウェルビーイングを実現する

- 自分らしく学ぶ
- 多様性の尊重
- 一人一人の可能性が最大に引き出される
- 学び合い・教え合い・助け合い・励まし合いによる生涯学習
- 一人一人の幸せと社会全体の幸せの実現
- 個々人のニーズに応じた学習機会の保障

## 生涯学び続ける

- マルチステージの学習
- リカレント教育
- リスキリング
- 学び直し
- 働きながら学べる環境
- 生涯学習への地域・産学官連携による支援

## 誰もが学べる

- 誰一人取り残さない学習機会や学習環境の提供
- 障害者の生涯学習・文化芸術活動の推進

## 学びを通じて社会的課題を解決する

- 学びを通じた現代的課題の解決
- 社会教育施設の機能強化、複合化
- 社会的包摂

## 学びを通じて地域コミュニティの基盤をつくる

- 人と人とのつながり・絆
- 学習・文化芸術を通じた交流機会の創出
- 地域課題の解決
- 社会教育人材の養成・活躍機会拡充
- 地域連携、多様な主体との連携

## デジタル社会に対応する

- デジタルリテラシーの向上
- デジタルデバイドの解消
- デジタル技術を活用した学習・文化芸術活動の推進
- 社会教育施設のデジタル基盤強化

## 自律的・持続的な学習・文化芸術活動を推進する

- 学習・文化芸術活動を持続できる仕組みや環境の整備
- 担い手の育成
- 活動団体等への支援

# 6 (仮称) 新九段生涯学習館の めざす姿・基本方針

## ■テーマ1

「千代田区の良いところ、好きなところ」

「九段生涯学習館の良いところ、好きなところ」について

あなたが思う「千代田区の魅力や好きなポイント」は何ですか？

「九段生涯学習館の魅力やお気に入りの点」についてはどのようなことがありますか？

## ■テーマ2

(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿や基本方針について

千代田区の現況や社会動向、生涯学習に求められるキーワード等を踏まえて、(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿(コンセプト)、目的や役割について自由に話し合ってください。